

福良港津波防災ステーションは、津波防災に関する2つの目的をもった施設です。保育所から小学校、中学校まで多くの子供たちが利用しています。また、県内外、海外から視察や研修にたくさんのひとが訪れます。

1. 津波に備える知識を広く皆様に知っていただく施設です。
2. 地域の皆様が、交流活動を通して、広く防災ネットワークを作っていただく拠点です。



愛称は『うずまる』です。うずしおのようにまるく、福良の町を守る。



福良地区津波避難7箇条

- ① 揺れが小さくても1分以上揺れたら、すぐ避難。
- ② 30分以内に避難場所へ逃げる。こと。(福良では)
- ③ てんでんばらばらで逃げられる信じあえる家族づくり、地域づくり。
- ④ 少しでも高いところを目指すこと。
- ⑤ 建物へ逃げ込むのは最後の手段。
- ⑥ 一度避難したら、絶対に家に戻らない。
- ⑦ 避難のためにも、住宅の耐震化、家具の固定。



団体での来館も多く、様々な方に津波防災について学習・体験いただいています！

来館者数(人) 平成22年9月～令和8年2月まで

平成22年9月～令和4年3月	216,065
令和5年度	18,096
令和6年度	21,369
令和7年度	22,212
合計	277,742

総来館者数
27万人達成！

津波防災と観光の両方に取り組んでいることが福良の自慢です。



はとざき
波戸崎リーダー

防災の取組を通じて、福良の「ひと」「まち」を知ってもらいたいです。



たにくち
谷口リーダー

自分で体験した防災の取組をみんなに伝えていきたいです！



ただ
多田リーダー

◆福良港津波防災ステーションでは、学習リーダーが常駐し、津波に対する防災学習を行っております。より多くのおみなさまにご来館いただけますようお待ちしております。

◆福良港津波防災ステーション
開館時間：10：00～16：00
休館日：毎週月曜日（※月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館日となります）

〒656-0501 兵庫県南あわじ市福良甲1528-4
TEL:0799-50-2381 FAX:0799-50-2382
URL：http://www.tsunami-bousai.info
E-mail：info@tsunami-bousai.info

かわらばん



Vol. 15

令和8年3月

福良の防災に関するまちづくりの取組みをご紹介します！

うずまるフェスタの開催

オープニング

うずまるフェスタ実行委員会の原会長、南あわじ市長から、挨拶がありました。昨年度、湾口防波堤が完成したことで、被害が軽減される見込みですが、継続した避難訓練が大事であることなどのお話がありました。

メインステージ

和太鼓団体「和太鼓美鼓音」や福良こども園園児による演奏が披露されました。



2025年11月22日(土)に、津波防災のまちづくりをめざす福良地区の魅力を発信するとともに、防災啓発活動を行うため、福良港津波防災ステーション前でイベントが開催されました。

自走式水洗トイレカーの展示

2024年1月1日に発生した能登半島地震で被害のあった珠洲市に、南あわじ市がトイレカーを派遣しました。被災地でトイレカーを利用した方からは、感謝の言葉をたくさんいただいたそうです。

トイレカーのラッピングは、市の花「水仙」と「うす潮」です。偶然にも水洗トイレを連想させるラッピングになったようです。



水消火器「的当てゲーム」



地元産の素麺（備蓄食料）のふるまい



津波防災フォーラム2026

2026年1月18日(日)に、南海トラフ地震への備えに対する住民意識の向上のため、福良地区公民館にてフォーラムが開催されました。

基調講演



兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の澤田准教授より、能登半島と淡路地域の共通するリスクや対策について紹介。

パネルディスカッション



能登半島地震経験者より、被災時の避難行動、情報入手・伝達、生活再建等の課題や被災地の孤立状況への対応について話題提供。

福良小学校6年生による発表



総合的な学習の時間で学んだ防災学習の成果発表と「しあわせ運べるように」の合唱を披露。

